

リチウムイオン電池製造工程での微差圧測定に **新製品**

KS3200 in the box-SUS

digital pressure manometer

デジタル微差圧計

KRONE CORPORATION



KS3200 in the box-SUS は、媒体が直接触れる部位に銅、亜鉛の使用を制限しているため、主に銅、亜鉛の使用を厳しく制限されているリチウムイオン電池製造工程等において使用が可能です。

リチウムイオン電池製造装置や製造工程の微差圧コントロールに

製品特長

- ハイコントラスト LCD 採用
- LCD 表示採用による省エネ
- アナログ信号出力付き
- ヒステリシスや比較遅延設定可能
- 表示レート時間設定可能
- Hi・Go・Lo 比較設定出力が可能
- UL 規格、EU 指令適合

主な仕様

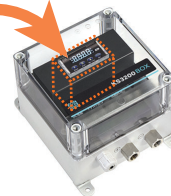
- 電池製造工程内における各ブース間のクリーンエアーの差圧監視
- 電池材料調合工程においての使用済み排ガスの目詰まり監視
- 電池巻回機内の気流の風量管理
(クリーンエアー導入量と機械内の集塵風量のバランス調整)
- リチウムイオン電池関連製造装置

WATERPROOF & DUST PROTECTION **BOX**

この1台で
あらゆる
微差圧測定や
制御が可能!



デジタル微差圧計
KS3200



BOXタイプ
KS3200
in the BOX

保護等級
IP65
BOX採用

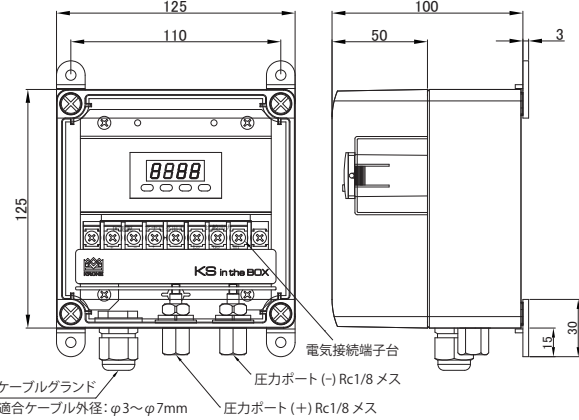
■ SUS 継手を使用



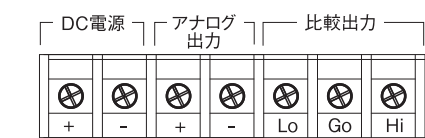
主な仕様 [Specifications]

KS3200 in the BOX						
圧力レンジ (Pa)	差 圧	0-5000	0-2500	0-1000	0-500	0-300
精度		±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.5 % F.S.
連成圧		0-±5000	0-±2500	0-±1000	0-±500	0-±300
精度		±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.	±1.0 % F.S.
測定方式	半導体差圧方式					
測定媒体	空気及び非腐食性気体 (粉塵無きこと)					
表示精度	上記精度 ±1 digit					
温度特性	±0.1 %FS/℃以下					
耐 圧	80 kPa	80 kPa	50 kPa	50 kPa	50 kPa	50 kPa
表 示	フル 4 桁 LCD 表示					
圧力表示	4 桁 LCD (単位: Pa)					
比較表示	Hi・Lo・Go 3 点 LCD 表示					
Lo カット	5%F.S. 以下の値で任意設定					
強制ゼロ	プッシュ式強制ゼロ機能有り ※定期的に実施のこと (推奨)					
アナログ出力	4-20mA / 1-5V (オプション)					
比較設定出力	Hi・Lo・Go 3 点出力					
設定方式	プッシュ式 デジタル設定					
設定範囲	0 - 100% F.S.					
出力形式	NPN オープンコレクタ、Hi・Lo・Go 3 点独立出力 / PNP (オプション) / リレー (オプション)					
最大負荷電流	100mA (vol=1.35V) ※抵抗負荷					
最大印加電圧	24V ±10%					
入力電源電圧	DC24V (±10%)					
消費電流	53 mA (出力 20mA、バックライト点灯時) ※比較出力は含まず					
使用温度範囲	0℃～ 50℃ (氷結無きこと)					
使用湿度範囲	35%～ 85% (結露しないこと)					
保存温度範囲	-20℃～ 70℃					
ウォーミングアップ	5 分					
保護等級	IP65					
取付姿勢	特になし					
質 量	約 730g					
ケース材質	ポリカーボネート					
継手材質	真鍮 / SUS (選択可)					
規格・認証	CE、UL、RoHS					

寸法図 [Dimensions]



端子台接続図 [Pin Schematic]



主な設定機能の概要

- 1. 比較 (警報) 設定**
Hi と Lo の値を設定します。また Hi と Lo の方向、ヒステリシス、出力論理、比較値遅延、比較出力の ON/OFF 等の設定ができます。
- 2. ヒステリシス**
設定された Hi または Lo 値に実圧が近づくあるいは離れるとき、チャタリングを引き起こすことがあります。この値を設定することによりこの現象を防止できます。
- 3. 比較値遅延**
設定された Hi または Lo 値に実圧が瞬間的に到達した際、比較値遅延を設定することにより、動作を遅らせることができます。(右記出力モード例参照)
- 4. 強制ゼロ**
パネル面の Up/Zero キーを押すことにより、強制的にゼロ点が補正されます。
- 5. サンプリングレートと表示レート**
このレートの組み合わせの設定により、平均値の表示などが可能になります。サンプリングレートを 0.1sec、表示レートを 0.5sec に設定した場合、結果として 5 回の計測の平均値を表示することになります。
- 6. 移動平均**
この設定回数だけの移動平均値が表示されます。特に脈動の激しい圧力計測や制御に应用できます。(1 から 255 回まで設定可能)
- 7. その他**
Low カット率、ゼロサブレス、最小桁固定等の設定機能があります。詳しくはお尋ね下さい。

